

第6章 水資源管理・水質管理分野に係る援助実績・動向

水資源開発、利水、水質保全などの水環境分野における国際機関・ドナー国の援助について以下に記す。

(1) 国連開発計画 (UNDP)

UNDPは、「国家環境行動計画(RK NEAP / SD)」や「2030年環境プログラム」の策定、RK NEAP / SDのもと設立された国家環境センターの支援に見られるように環境関連プロジェクト援助における中心的な役割を果たしている。1997年3月にUNDPと世界銀行の支援により設立された国家環境センターは、RK NEAP / SDの実施調整の役割を果たしてきたが、2000年6月をもって同行動計画策定・改定が完了したことから、UNDPは同センターの役割の見直しを提言している。

現在、UNDPが支援している水環境に関連するものとして「The Aral Sea Development and Humanitarian Programme」がある。このプログラムのなかで10村落給水パイロットプロジェクト(Remote Village Development Project in Kyzylorda Oblast)を実施また計画中にある。本プロジェクトにはアラル基金(IFAS)による協力がなされている。これらのパイロットプロジェクトでは、住民参加による運営が重視され、水利組合の結成・育成も大きなプロジェクトの柱としている。

(2) 世界銀行、国際復興開発銀行 (IBRD)

以下の水環境関連プロジェクトが実施また準備中にある。

- Irrigation and Drainage Project :

11州で15プロジェクトを1998～2003年で実施中にある(8,000万ドル)。

- Pilot Water Supply Project in Kyzylorda :

グジルオルダ州の給水プロジェクトで、2001年までに完了予定(700万ドル)。

- Atyau Pilot Water Supply Project :

カスピ海沿岸アティラウ州での給水プロジェクトで、1999～2004年で実施中(1,650万ドル)。

- Syr-Darya River Basin Control and Northern Aral Sea Project :

流域の持続的な農業生産、生活環境の改善、適切な水配分・水管理を行うとともにアラル海への流入量の増大・水面保持に資することを目標とするプロジェクトで、現在、借款承認予定にある(5,000万ドル)。

- Northern Environment Management and Rehabilitation Project :

Phase - 1 (2 億 ~ 2 億 5,000 万ドル) が借款承認の予定にある。プロジェクトコンポーネントに、パプロダール市域銀汚染、ヌラ川水銀汚染、ウスチカメノゴルスク市域の鉱工業廃棄物による地下水汚染、アスタナとカラガンダへの給水、北部主要都市の給水・衛生が含まれている。

(3) 欧州連合 C I S 技術援助 (E U - T A C I S)

現在、水環境関連の支援プロジェクトは行っていないが、2001 ~ 2003 年における支援プロジェクトの検討の中に、バルハシ湖の水資源管理プロジェクトがある。

(4) アジア開発銀行 (A D B)

以下の水環境関連プロジェクトが実施また準備中にある。

- Water Resources Management and Land Improvement Project (Phase-I, II):

南カザフスタン州 Makhtaaraal 郡地域を対象としており入札準備中にある (4,000 万ドル)。

- 北部地域給水整備長期計画 (M / P)

T / A による M / P 策定の支援が 2000 年末に開始すべく準備中にある。

(5) 米国国際開発庁 (U S A I D)

水環境の支援としては「 Environmental Policies and Institution for Central Asia (EPIC) Program 」による以下の実績・計画がある。

- 1995 ~ 1996 : Humanitarian aid program for the Aral Sea Ecological disaster zone (住民飲料水供給)
- 1996 ~ 1998 : 水利用及びエネルギー資源管理、水資源配分の技術協力
- 1998 ~ 2000 : シルダリア流域の水・エネルギー利用に関する関係国合意の支援

U S A I D 支援において、国際河川シルダリア水系の関連国水資源共同利用のためのコンセンサスづくりへの積極的な働きかけが特質される。1996 年にトルクメニスタンを除く 4 関係国からなる “ Water & Energy Uses Round Table ” を主催し、1998 年 3 月には同 Round Table は、“ Agreement on the Use of Water and Energy Resources of the Syr-Darya Basin ” を提唱し各国の同意を得た。また、U S A I D の主導の下、2000 年 1 月に “ The environment protection policy and consolidation of institutional structures for managing resources in Central Asia ” が開催された。一連の U S A I D 支援において E P I C プログラムとしてシルダリア川総合水資源管理と水利用に関する水文・水収支・管理の数値モデル構築など技術的側面からの協力も行っている。

(6) フランス

水環境分野での支援を積極的に行っており、特にイルティッシュ水系での水資源管理・水質汚染対策に係るプロジェクトが特質される。

- Preliminary project for assessing the impact of mercury pollution in the Pavlodar region :
パプロダール市にある化学工場による水銀汚染対策に係る調査 (1999 年に実施)。
- 上記の調査に続く水銀汚染に係る「パイロットスタディ」:
調査内容を汚染源周辺の土壌汚染、汚染源下流のイルティッシュ川汚染、湖沼汚染、地下水汚染とし実施中 (ソフトローン 1,000 万ドル) にある。
- 水銀汚染源「化学工場の水銀除去事業」:
工場敷地内に集積された水銀除去事業のための資金協力 (820 万ユーロ) を 2000 年 10 月に署名。
- Action Programme for Improvement of Water Quality in the Irtysh River Basin :
イルティッシュ水系の水質管理を主目的とする調査 (1999 ~ 2000 年) であり、流量・水質モニタリングネットワーク、河川情報システム、組織・制度強化、主要 3 都市の下水整備事業を優先プロジェクトとした提案がなされた。
- Study on Transboundary Water Resources Management in the Irtysh River Basin :
上記プログラム策定に基づく国際河川イルティッシュ川のカザフスタン - ロシア共同水資源管理プロジェクトの技術協力として 106 万ユーロのグラントが計画されている。

(7) ドイツ国際開発省 (G T Z)

天然資源の戦略的開発を目標に「Environmental Protection in the View of Water Resources in Almaty」を実施した。現在、世界銀行プログラム「Management system on eco-resources use」のフレームのなかで「The remediation of underground water contaminated by metallurgical and industrial waste in the Ust-Kamenogorsk area」を 2000 年 3 月から 1 年の期間で実施中 (グラント 30 万ドイツマルク) である。調査の目的は、ウスチカメノゴルスク市及びその周辺での金属鉱工業によって汚染された地下水の汚染軽減対策の立案・提言である。

(8) イギリス国際開発省 (D f I D)

安全な水供給を目的に「ヌラ川管理計画 (Catchment Management Plan for the Nura River Basin)」を 2000 年に実施する予定にある。この計画ではアスタナの水供給方策、ヌラ川の水銀汚染クリーンアップを含むヌラ川管理強化の策定を目的としている。